

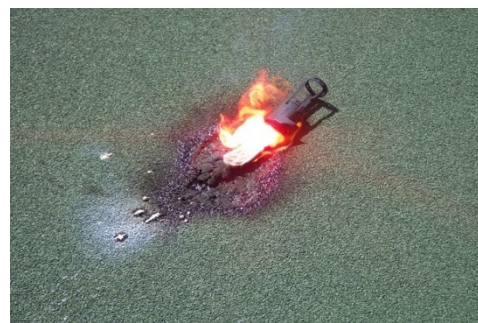
「ソリッドニューマット」による難燃性証明実験

目 的： 道路でよく使用される「ソリッドニューマット」の難燃性を実証する。

想定状況： 高速道路等でよく見られる「発煙筒」使用時の延焼事故に対し、防草マット上での延焼状況を確認する。

方 法： ソリッドニューマット試験片の上部に発火状態の発煙筒を置き、秒単位での延焼状況を確認する。
着火から自然鎮火までの5分間を目視にて経過観察、及び鎮火後のソリッドニューマットの延焼状況や融解状況を目視にて測定する。

- ① ソリッドニューマット
発煙筒設置 延焼試験
発火終了



- ② 自然鎮火



- ③ 発煙筒発火部分の事後状況



表



裏

検証結果：高速道路等でよく見かける使用時の発煙筒。万が一、防草マットの上に落ちた場合を想定して延焼実験を行ったが、ほとんど、発煙筒下部分以外に広がっていないことが明白である。

表面と裏面両方を確認したが、発煙筒周りからは燃え広がりが無い。
よって、「ソリッドニューマット」は当該状況に置いては十分な難燃性を有していると証明できる。

 谷口産業株式会社

〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町 8-3
TEL072-432-1828 FAX072-432-1838

